

平成28年度において使用する教科用図書を選定するための資料作成基準

第1 分析調査の観点及び具体的視点

1 内容

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について
- (2) 児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむための配慮や工夫について
- (3) 児童生徒が主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について
- (4) 教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について
- (5) 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について

2 組織、配列、分量

- (1) 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて
- (2) 反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について
- (3) 季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて
- (4) 内容と分量のバランスについて

3 使用上の配慮や工夫

- (1) 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について
- (2) 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について
- (3) 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について

第2 分析結果のまとめ方

分析調査した事項を各教科書別、各観点別に列記するとともに、全体的、総合的にその特長を記述する。